



八重垣神社祇園祭

毎年8月4日と5日に行われる八重垣神社祇園祭は、元禄10(1697)年に始まったとされています。八重垣神社の神輿(みこし)を中心に、10町内から20基以上の神輿が繰り出し、「あんりゃあどした!」という威勢のいい独特の掛け声で練り歩く姿はまさに圧巻。神輿の行列に冷水を浴びせかけるのも大きな特徴で、見応えがあります。

The Yaegaki Shinto Shrine's Gion Festival started in the year 1697 during the Genroku era. It takes place every year on August 4th and 5th. There are more than 20 portable shrines called *mikoshi* that are carried around the town. Each of the 10 So-sa city neighborhoods have their own *mikoshi*. People carry the *mikoshi* around town all day shouting "anrya-doshita!" while people douse them with water to keep them cool in the summer heat. It is an exciting scene and event, not to be missed.



伝統行事

- 1. 駒まね** 家から青竹を持ち寄り、八重垣神社境内にしめ縄を張って作った祭場でそれを燃やすことで、無病息災や交通安全などを祈願します。
- 2. 松山神社神楽** 松山神社神楽保存会によって毎年奉納される神楽で、「下総十二神楽」と呼ばれています。
- 3. 小高の裸参り** 妙長寺の門前に集まった下帯一本の若者たちが頭から冷水をかぶる、真冬の水垢離(みずごり)行事。奇祭として有名で、遠方からも見物客が訪れます。
- 4. 六社神社御神幸祭** 囃子(はやし)連とともに神輿(みこし)が野手地区を威勢よく渡御。海で神輿を揉む「お浜下り」は見応えがあります。
- 5. 亀崎の如意輪まいり** あでやかな着物に身を包んだ女性たちが、大きな万燈を列の先頭でかざしながら子安神社で踊りを奉納し、安産祈願をします。

1	2	3
	1	3
4	5	



伝統行事

- 1. 仁組獅子舞** 大人2人で操る獅子が、栢田地区・仁組集落内の各戸を回って悪疫払いをすることで、五穀豊穡(ほうじょう)・無病息災を祈願します。
- 2. 片子の盆綱** 各家庭から持ち寄ったワラで、長さ20m、太さ20cm以上にもなる巨大な盆綱を編み、妙印寺境内の2本の大樹に両端を縛り付けます。
- 3. 東谷の祇園祭** 東谷地区・八坂神社の祇園祭で、“ケンカ神輿”の異名を持ちます。神輿(みこし)を先頭に道中激しいもめ合いが行われ、時には地面に押し倒す場面もあります。
- 4. ひげなで三杯** 今泉地区・稻生神社の氏子同士が、東西に分かれて酒を競って飲みます。ひげをなでる仕草が次の酒を要求する合図となり、それらを飲み干すことで五穀豊穡、家内安全を祈願します。
- 5. 時曾根の大蛇まつり** 地区の若者たちが持ち寄ったワラで、長さ3m、太さ30cmほどの大蛇を3匹編み上げます。大蛇は時曾根集落の三方の入り口の木にかけられ、悪疫退散などを祈願します。

1	3
2	4
	5



行事・市民まつり

- 1. そうさチューリップ祭り** 毎年春、のさか花の広場では市の花チューリップ7万本が咲きそります。カラフルに彩られた会場は、多くの家族連れなどでにぎわいます。
- 2. よかっぺ祭り** 小学生によるたるみこしパレードや踊りなどで、毎年になぎわいを見せる市民祭りです。「よかっぺ」とは当地方の方言で「良いだろう、良いことだ」を意味します。
- 3. 市場まつり** 旧市名「八日市場」の由来である「市」にちなみ、本町通り商店街を中心に伝統行事「駒まね」と同時に開催されています。
- 4. のさかふれあい祭り** のさか太鼓の演奏や子ども民謡などで盛り上がりを見せる市民祭りです。
- 5. そうさ農業まつり** 「見て、触れて、味わって体験できる!」農業者と市民の交流祭典。農特産物を豊富に取りそろえ、展示即売のほか、くじ付きもち投げなど、イベントも盛りだくさんです。
- 6. 大浦花火大会** 打ち上げ数は100発前後ですが、収穫間近の水田に囲まれて見る花火は風情があります。



1	3
2	4
2	5
	6